

授業科目	比較文化論					単位	2	
履 修	選択	関連資格				ナンバリング	TO11805J	
開講年次	1 年	開講時期	前期	該当DP	DP3-1 DP4-2			
担当教員	友原 嘉彦							
授業概要	AI の発達等により、人は「他者と違うことをすること」や「表現力」といったことが求められている。こうしたことに対応するための根底を探るべく、日独の人間関係（個人と集団）について考察する。まず、ドイツがいかにして「個」を確立させたのかについて歴史を紐解いていく。ドイツの基層文化から第二次世界大戦までの集団の特徴的な動きや考え方を確認し、それと対応した日本の状況と比較して考察する。							
学生が達成すべき行動目標	人々が集団としてなぜそう動くのか、集団の動きが何をもたらすのかについてドイツ史を通じて学び、基層文化も含めて日本の現状とも照らし合わせ考察することができる。							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	40	0	40	0	0	20	100	
知識・理解 (DP1-1)								
知識・理解 (DP1-2)								
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)								
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)	40		40				80	
関心・意欲 (DP3-2)								
態度 (DP4-1)								
態度 (DP4-2)						20	20	
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
ドイツの基層文化以降における集団の行動史について十分に説明でき、日本の状況とも照らし合わせて考察を深めることができる。				ドイツの基層文化以降における集団の行動史について説明でき、日本の状況とも照らし合わせて考察することができる。				
授業計画								
進行	テーマ・講義内容			授業の運営方法		学習課題(予習・復習)		予習・復習時間(分)
1	・ガイダンス ・ドイツの集団行動概史			講義		復習		80

2	・子ども十字軍	講義	復習	80
3	・ドイツの異端狩りと日本のキリシタン弾圧	講義	復習	80
4	・ポグロム	講義	復習	80
5	・ハーメルンの笛吹男	講義	復習	80
6	・ドイツの魔女狩り 1 と日本の江戸時代の裁判	講義	復習	80
7	・ドイツの魔女狩り 2 と日本の同和差別	講義	復習	80
8	・ドイツのナチス期 1 と日本の軍部独裁 1	講義	復習	80
9	・ドイツのナチス期 2 と日本の軍部独裁 2	講義	復習	80
10	・日独の基層文化 1	講義	復習	80
11	・日独の基層文化 2	講義	復習	80
12	・現代における日独の個人と集団の比較 1(公共に対する考え方)	講義	復習	80
13	・現代における日独の個人と集団の比較 2(男女関係)	講義	復習	80
14	・現代における日独の個人と集団の比較 3(酒とタバコ)	講義	復習	80
15	・現代における日独の個人と集団の比較 4(大学)	講義	復習	80
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				

27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	・ドイツについて興味関心があること。 ・ドイツ史について大まかでも知っておくこと。			
テキスト	・ドイツについて：浜本隆志(2004)『魔女とカルトのドイツ史』講談社現代新書 ・日本について：レジュメを配布します。			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	授業中に紹介する。			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	外国のことを知り、考えることで、翻って日本についても見えてくるものがあると思います。			
達成度評価に関するコメント	ドイツは(授業で取り上げる)この恐ろしい面をかなりの程度、克服しました。日本はどうでしょうか。文献からの知識だけでなく、いつかドイツに行っているいろいろなことを体験してみてください。			